

祝 開館 幕張ベイタウン・コア

待ちに待ったコアがオープンした。7年越しの住民の夢が実った。コアのオープニングイベントは3/23から一週間以上。そのほとんどが住民の企画だ。手作り手弁当のものあり、超一流を呼んでのものあり。ここではその一端を写真中心でお届けする。

開館記念式典 (3/23)

唯一の公式行事である、千葉市主催の開館記念式典は2002年3月23日午前10時にはじまった。この時をもって、幕張ベイタウン・コアは正式開館した。

歴史的(?)なテープカットの瞬間。式典には多くの住民も招かれた。



寺子屋工作ランド (3/23)

開館記念式典と同じ時間。子どもルーム前では「寺子屋工作ランド」が行われていた。式典に参加できない子どもたちはこちらで盛り上がる。

80人も集まった子どもたちを前に、紙トンボづくりを説明する鎌田さん。子どもたちの目が輝く。



コア設計者と語る会 (3/23)

23日午後からは設計者の高谷先生を囲んでの語る会。コア設計のポイントを設計者自らが現場を見ながら説明した。

◀全館めぐりをしながら住民の前に設計の工夫を話す高谷先生。



▶特に力を込めて設計したホールの説明には熱が入る。



▲打瀬中学校1年生の「情報をデザインする」展示



▲防災委員会による非常食炊き出し
▶開館前の施設利用説明会に詰めかけた住民



ダートマス大学混声合唱団 (3/23)



米国のアイビーリーグ大学であるダートマス大学混声合唱団の公演

映画とワークショップ (3/24)

開館2日目の3/24には千葉大の木下勇先生を招いて、「地域が子どもを育てる」と題した街作りの映画とワークショップが行われた。



先輩公民館による祝賀イベント (3/24)

稲浜公民館から駆けつけた磯辺女声コーラス公演



▼開館前から中庭にオブジェを設置



▶打瀬小学校「地域交流特別クラブ」で作られた子ども新聞の展示



アイリッシュ・ビデオ・ナイト (3/24)

「近所のよしみで応援しよう！」千葉市をキャンプ地にしてW杯を戦うアイルランド代表チームを応援するためのイベント第1弾。



アイルランド大使館一等書記官のヒーリーさんを囲んでオフィシャル応援歌「ザ・スピリット・オブ・ザ・ゲール」を練習するサポーター

アイルランド料理講習会 (3/24)



日本在住のアイルランド人による料理講習会。コアの調理室の正式デビュー

児童狂言クラブ公演 (3/26)

開館イベント中盤の平日に行われた、稲毛第二小学校特設「児童狂言クラブ」による公演とワークショップ。



ワークショップにはベイタウンの子どもたちも参加し、狂言を初体験

ペイタウン・コアに図書館分館がオープン

移動図書館バスの貸出図書数第一位の街に図書館がオープンしました。貸出は4月2日からですが、この図書館と展示を見ようと、コア開館日の3月23日は、延べ1228人の方々が来館しました。自分がリクエストした本が、ちゃんと入っているか確かめている人、外光の入るブラウジングコーナーで雑誌を読む人。児童書のコーナーでは、両脇に子どもを抱えて、絵本や紙芝居を読み聞かせる子煩悩なお父さんたちが何組もいました。

「平均年齢の若い街、特に分館では、児童書とお母さん用の実用書を充実させています」と、中央図書館の狩野館長。「この千葉市は、市町村合併と埋め立てによってオープンスペース（市域）を広げ（現在272km²）人口約90万人。今までは東京の衛星都市として発展してきましたが、これからの都市とは“住む”“働く”“憩う”機能をもたせた自

立都市を目指すことが重要です。この分館が、住民の皆さんの“憩いの場”“生涯学習の場”、親子の本を通じたふれあいによる“情操教育の場”になるよう、役立てていただければ幸いです」。また、オンラインネットワークとメールカー（輸送車）を駆使することで、どの図書館・公民館図書室からでも市内の全図書の貸し出し・返却が可能です。

実際に図書館に入れる本について住民アンケートを取るなど、住民として開館に尽力した「コア研図書館担当」の村岡さん（東の街）にお聞きしました。

「ぼくらは図書館に何を望んでいるのだろう。街開き間もない95年の企業庁アンケートで、図書館はコアに必要なもののダントツ第1位だった。図書館研究会がで、分館の性格づけ、選書、所蔵すべき資料、児童閲覧室、ブラウジングコーナーなどあらゆる問題が議論された。ぼくがお手伝いした住民からの希望図書は1カ月で660冊を越えた。きっと日本の図書館は今まさに分岐点に差し掛かっているのだ。電子媒体と紙媒体が補い合うことで、人々の情報発信と知の探索の拠点が生まれつつある。気持ちよく柱ののびた天井の高い分館も、どんどん変わっていく可能性を秘めている。小さいけれど、図書館と住民の知恵をしばった分館。これからも図書館の方々とともに、みんなで分館を育てていければと思っています」



「机上面照度700ルクス以上の明るさで、本棚は地震などで倒れないように固定しています。車椅子でもすれ違えるよう、通路幅は1.5mあります」と設計者の高谷さん。コア研の努力や工夫が反映されて、美浜図書館打瀬分館が開館しました。3万2500冊の蔵書中、児童書は約7000冊、「子どもたちの“調べ学習”の能率や効果上がるのでは」という期待の声が多かったのが、印象的でした。

【浜田】

美浜図書館打瀬分館：TEL 043-272-4646

展示は「幕張の今昔」

「懐かしいな、この写真。昔は、東京からの小学校の遠足、家族の遊びというと必ず稲毛の海岸へ海水浴や潮干狩りに来た。その頃の海の家や蛤屋の写真だよ。幕張は漁師町だったんだ」と、図書館内の展示の写真に見入る人。他にも幕張出身の作家 椎名誠が小学5年生の時の作文、昭和4年の幕張町の鳥瞰図など、今の幕張しか知らない人にも興味深い展示物が、4月17日まで展示されています。



コアのピアノをFAZIOLIに

「コア・ホールにコンサートピアノを入れる会」(発起人会)
事務局・下川正晴(5番街、電話211-0472)

「幕張ペイタウン・コア」が3月23日、開館しました。「音響重視」のホール(200人収容)、公民館、図書館分館、子どもルームからなる複合施設であり、ペイタウンの発信基地です。

しかし、残念ながら「音響重視のホール」に設置されるピアノの問題が決着していません。千葉市の来年度予算によると、ピアノ購入予算は230万円。これは高校体育館にあるピアノと同水準であり、ハード(立派なホール)とソフト(貧弱なピアノ)がミスマッチを起こします。

コアのホールは、サントリーホールの音響設計に当たった「永田音響」が設計に参画した立派なものです。それはコンサートピアノの設置を前提に設計されています。

コンサートピアノは高額商品です。しかし「新古品のフルコンサートピアノ」の発掘によって、事態は打開されました。イタリア製のファツィオリです。2回の演奏会、1回の録音に使用されました。このピアノは今回、ダートマス大混声合唱団、人気ピアニスト・仲道郁代さんのコンサートなどで演奏され、いずれも高い評価を受けました。

プロのピアニストが弾くだけのものではありません。ペイタウンでもコンサートの合間を縫って、数日にわたる試弾会を行い、「ぜひコアのホールに導入したい」という声が高まっています。

「コア・ホールにコンサートピアノを入れる会」(発起人会)が結成され、住民レベルの動きが始まっています。千葉市側も住民による資金調達分と市予算とを合わせて、フルコンサートを購入する方法を検討中です。

ペイタウンは「欧州風の街並み」がアピールし、順調に成長してきました。多彩な教育・文化活動も高く評価されています。コアの

ピアノがペイタウンの将来に与える重要性をぜひ理解頂き、ご協力を頂けるならば、誠に幸いです。ピアノ募金の振込み先銀行口座：京葉銀行海浜幕張支店 コア・ホールにコンサートピアノを入れる会 普通口座419(店番号)2514351(口座番号)

<FAZIOLI: ファツィオリ>

1978年に創設されたイタリアのピアノメーカー。イタリア人名ピアニスト・ミケランジェリの調律師であるタローネの弟子らが、スタインウェイ社ではなしえなかった技術者の夢を形にするためにピアノ製作をはじめました。

高音のきらきら感に特徴のある明るい音質。欧米で大変評価が高く、コンサートホールに次々と導入されています。仲道郁代さんも英国で弾かれ「すばらしいピアノ」と絶賛。日本では滋賀県栗東市の栗東芸術文化会館「さくら」に導入されています。



FAZIOLI搬入当日、早速感触を確かめる隅山さん(コア研、ピアノ選定委員)

はらペコ記者が行く！

アイルランド料理の給食って、どんなの？

サッカーのアイルランド代表チームが千葉県をベースキャンプにするのを歓迎するねらいで、市教育委員会ではアイルランド料理を給食に取り入れる——。3月に入って、こんなニュースが流れた。「アイルランド料理」っ

アイルランドシチュー 4人分	
豚付きラム肉	600g
たまねぎ	中2コ
じゃがいも	大4コ
パセリ	3枝
タイム(ドライ)	小さじ3
ローズマリー(ドライ)	小さじ2
ローレル(ドライ)	3枚
塩、水	

<作り方>①ラム肉に軽く塩をふっておく②たまねぎは1cm程度の輪切りに、じゃがいもは大きめの角切りに③パセリはみじん切りに④ラム肉、たまねぎ、じゃがいもを鍋に。かぶる程度の水を入れて火にかけて⑤沸騰したら、ていねいにあくをととり、パセリ、タイム、ローズマリー、ローレルを加える⑥塩を少し加え、3時間ほどとろ火で煮込む。水分が減ったら、水を加える。

アイルランドフリッター 4人分		
たら	4切れ	
塩	少々	
こしょう	少々	
小麦粉	適量	
衣	小麦粉	40g
	卵	半分
	黒ビール	40cc
	牛乳	20cc
	塩	ひとつまみ
揚げ油	サラダ油	5cc

<作り方>①たらは塩・こしょうで下味を付け、小麦粉をまぶしておく②衣の材料をすべて混ぜ合わせ、衣をつくる③たらを衣にくぐらせ、180度の油でかりやかにするまで揚げる。

て？ 国そのものにもなじみがないこともあって、ピンとこない。どんな料理なんだ、いったい。アイルランド代表チームも歓迎だけど、給食を食べるのはもっと歓迎というわけで、正体を確かめに打瀬小学校と打瀬中学校に向かった。

アイルランドシチュー
味付けを考えてチキンブイヨン。「シチュー」というよりは「スープ」という感じの仕上がり。中学生向けに分量を増やそうとウィンナーも加えた。

アイルランド・ソーダ・パン&蜂蜜
小麦粉(薄力粉)とベーキングパウダーにバターミルクを加えて焼いたもの。固めでパサパサしていて、スコーンのような味わい。

※給食にはこのほか牛乳とプルーンも



アイルランドフリッター
黒ビールのおかげか、衣はふわっと。学校給食センターで数社に試作をさせたとのこと。ソースはなにもつけなくてもおいしい。

ボイルド野菜
ブロッコリーとにんじんをゆでて、ホールコーンを加えたもの。もとのレシピは塩味だけ。味付けを考えて、フレンチドレッシングであえた。

打瀬小学校では……

「たいへんだったのはシチュー」と栄養士の石川さん。1時間目の授業が始まるころから煮込み始めたという。じゃがいもは丸ごと入れたが、煮崩れてもとの形をとどめていないほど。「塩・こしょうだけでは子どもは食べない」(石川さん)ので味付けにも工夫。コンソメ、ケチャップ、デミグラソース、カレールー、赤ワインなどを加えた。



左の写真が、中学校の給食で出てきたアイルランド料理だ。市内の公立中学校はどこも学校給食センターでまとめて作った給食を出しているため、レシピは共通。市教育委員会で栄養士向けに作ったものとほぼ同じだ。塩・こしょうだけのシンプルな味付けが特徴と言える。

小学校では4年1組、中学校では2年C組に乗り込んで、子どもの評判を聞いてみた。

人気があるのは、フリッター。たしかに、これはうまい。ビールと合わせた一品だ。シチューも評判いい。ラム肉特有のにおいを気にする声は案外少なかった。おとなには、塩・こしょうだけのシンプルな味付けでもいけそうに思えた。評価が分かれたのは、ソーダ・パン。「パサパサ」「固い」と嫌う声が多かった一方で、「好き」と答える男子中学生もいた。

打瀬小では4月と5月の献立にもアイルランド料理を組み入れる予定とのこと。栄養士の石川久美子さんは「アイルランド料理をご存じの方はぜひ教えてください」と呼びかけている。

こども・まち・シリーズ Vol.1 がっこう

卒業生 12人が語る

打瀬中の思い出

私達は3月12日に打瀬中を卒業した第7回卒業生です。私達の学年は、在学中は行事があるごとに勉強そっちのけで盛り上がり、「イベント大好き学年」といわれていました。そんな私達3年A組の12人が卒業直後に集まり話した、現在の気持ちや、中学校生活での思い出などをお届けします。

公園西の街 富川真希

イベント大好き学年は団結力あってこそ

「自然教室」、「三年の文化祭」でクラスの団結力が強くなったとの声があがりました。特に最後の文化祭、私たちのクラスはソーラン節をやりました。ドラマ「金八先生」のビデオを何度も見て踊りを練習したり、はっぴを型紙から起こし一人一人手作りで仕上げました。本番間近に、ソーラン節のCDが盗まれて焦ったこと、数日後マリニピア前で偶然見つかりびっくりしたこと、担任の三橋先生の踊りがちょっと…という裏話もあり、文化祭は本当に波乱万丈でした。色々なことがあったからこそ、お互いに協力することができ強い団結力が生まれたと思います。

「みんな、打瀬中に入って良かった？」

みんな口々に「本当に良かった」と連発。打瀬中の良いところは挙げるとキリがありません。「きれいだし設備がいい。良い先生がいっぱい。なにより学校の雰囲気が良い」という人も。私達は、三年間とても楽しく充実した学校生活を送りました。卒業前には、留年したいとか(中学校は留年無いのに…)、打瀬附属高校を作るとか、みんなで打瀬中に留まる方法を本気で考えたこともあります。

「そんな Good な打瀬中はこれからどうなっ

てほしい？」
最初にでたのが「明るく活気付けて！」でした。打瀬中は人数が今よりぐんと増え、色々な事が変わってくると思います。5年先も10年先も私達の大好きな打瀬中が、多くの人に好かれる学校であってほしいです。集まった12人のうち9人の、妹や弟が打瀬中に近いうちに入学、または生徒であることが発覚！ しばらくは妹・弟を通して、打瀬中を見守ります。

自分たちのこれからの未来

「同窓会とかやるの？」という大人の質問に、「もちろん！ 月イチでやります」という回答。「コアにみんな集まればいい！」「自分でマンション買って一生ペイタウンに住むよー」という人もいました。ペイタウンを離れたく無いという気持ちは、みんな共通の思いです。最後に「高校生ってペイタウンの中で微妙だあ」という声がありました。私達は小さな子どもでもなく、完璧な大人でもない、高校生になります。これからは高校生という立場から、ペイタウンで活躍していきたいです。さあ新しい高校生活！ 頑張るぞっ！！



今回取材に応じてくれた卒業生12人。4月からはそれぞれの高校生活が

もしあなたの家が火になって、「梯子（はしご）車」や「ポンプ車」の到着に時間がかかったら。駆けつけたにもかかわらず、車をつける場所がなくて消火活動に支障をきたしたとしたら。

また、一刻一秒を争う「救急車」の到着が遅れたとしたら…。

ベイタウンでは今、「路上駐車」がこうした危険な状況を作っています。

「実際、出動するときに路駐の多い道路を避けて迂回することもありますが」「消火栓の上に止まっている車をみんなで持ち上げてどかしたことも」打瀬出張所の消防士さんたちは、日頃の消防・救急活動において、いかに路上駐車に悩まされているか、同時に住民がいかに危険にさらされているかを指摘する。

中高層住宅地域であるベイタウンでは、上の階への延焼を防ぐため火が発生すると必ず50m級の梯子車が出動する。その際、用地が敷地内に確保されているセントラルパークなど一部を除いて「道路」が消防活動用地となるが、この貴重な活動スペースが路駐に占拠されているというのだ。

今回、美浜消防署打瀬出張所の協力により、実際ベイタウン内を梯子車が走行した。日曜日の午前中という比較的路駐の少ない時間帯にも関わらず、センターラインオーバー、減速を常時余儀なくされた（「はしご車同乗体験記」参照）。また、赤玉青玉公園脇の進入路で、消火活動時さながらに梯子車を展開してもらった。私たちが見守るなか車両の両側から、アウトリガーと呼ばれる足が4本張り出してくる。このアウトリガー（各1.5メートル）が、全長50メートル、17階まで届くという梯子を伸ばしてのハードな救助活動を支える。

「梯子車が理想的に活動するためには、幅6メートル、車の長さ12メートルの活動スペースが必要です。それもなく建物の15メートル以内に近づけたところで活動したい。しかし実際には…」

アウトリガーは各0.7メートルまで縮めての活動も可能だが、梯子が不安定になると、コンピュータ制御により自動的に停止してしまう。目の前に燃えている建物があっても、梯子車はなすすべがないということも起こりかねない。もし、人が逃げ遅れていたら…。実際には6～8台ぐらいの消防車のほかに、漏電・水源確保・ガス漏れ対策の緊急車両やパトカーの駐車スペースが必要になる。

「以前に観たアメリカ映画みたいに、消火活動にじゃまな車を蹴散らして走ることはできないんですか？」との金記者の質問に、「緊急だからといってじゃまな車にぶつけていいことにはなりません」との返事が返ってきた。驚いたことに、ホースを伸ばしたときに違法駐車した車を破損し、その持ち主に訴えられるケースもあるというのである。

こうした厳しい条件のなかでも最善を尽くすべく、出張所では「パティオス警防計画」「梯子車の進入及び架梯状況について」を作成し、日頃からベイタウンの状況を把握したうえで、迅速且つ効果的な活動を展開しようと努力を続けている。その誠実な取り組みには頭がさがる。

今回、取材に同行した自治会連合会交通委員会の土橋さん（公園西の街）も、改めて路駐の弊害を再確認した。「私の住む西の街の2番館と3番館の間も路駐がひどく、先日の消防検査の時に梯子車による消防活動に難点がある道路と言われてしまいました。これからは消防署と住民が力を合わせて災害を防ぐという面からも企業庁に働きかけていきたいと思います」住民のモラルに訴えて地道に活動してきた交通委員会でも、来客用に駐車スペースを確保するほか物理的な対策に踏み切る時期にきているという。それでも、住民のモラルを信じたいと思うのは甘いのだろうか。

【取材・文：佐藤 写真：土橋】



→アウトリガーを出して活動するはしご車。後ろの路駐車が道を占領しているのがわかる。

「はしご車同乗体験記」 3月10日（日）午前10時 消防署を出発

●打瀬北通りを南へ
いきなり両側に停められた路駐の車に行く手を阻まれる。はしご車はセンターラインをまたいで走行。こんな時間でも意外と車が多い事を実感。

●1番街の角を左折
路駐の車がじゃまをする。ひどい時は一度に曲がりきれないこともあるとか。ちょうど正面から車が近づいて一旦停止。

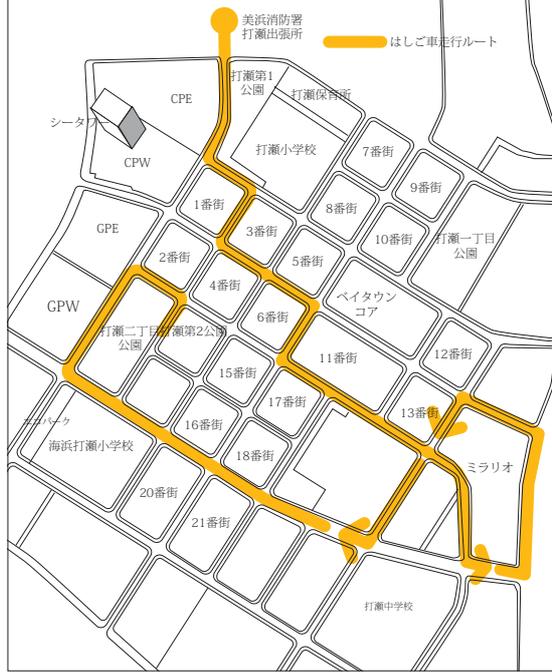
●3番街の角を曲がりプロムナードへ
消防車がセンターラインをまたいでいるので、前方からの車が次から次へと左によって一時渋滞状態。



●5番街の角を右折
配送用のトラックが右側に停まっていて、かなり曲がってからやっと前方が見える。角を曲がるたびに後部座席の消防士さん達が身を乗り出すようにして安全確認をしている。

●富士見通り
消防士さん曰く「車が両側に止まっていると子どもの飛び出しが気になりスピードは出せません」記者のイライラ度はあがるいっぽう。

●11番街の角を左折
道幅が広いのに駐車車両で見通しが悪くのろのろ運転。



とにかく最初から最後までろのろ運転でセンターラインをまたぎっぱなし！こんなところで活動しなくてはならない消防士さんの気苦労が実感できた「イライラ乗車体験記」だった。ニューヨークの消防士の活躍を描いた映画の中で、消火活動に邪魔な車の窓に消防士が怒りの鉄拳を見舞う場面があったが、今回の取材でその気持ちがよ～く理解できた。もちろん打瀬の消防士さんたちはそんなことしません。

●ミラリオ横
狭い道に両側びっしりと青空駐車車両。対向車がバックして道を空ける始末。ここが一番駐車状況がひどい。反対方向に停めている車も多い。記者のイライラはピークに！



●公園西の街前の打瀬北通り
ここも両側駐車は端から端までびっしり。目の前で路駐しようとしている車もある。この道はバス通りのはずなのに！



【取材・文：金】

B

-

I

n

f

o

r

m

a

t

i

o

n

恒例のペイタウンまつり 今年も5/11(土)に決定

折り込みチラシでも紹介しましたが、恒例のペイタウンまつりの開催が5月11日(土)に決まりました。今年もシータワー、セントラルパーク東、21番街、20番街の方々をはじめの参加となります。場所は昨年同様打瀬二丁目公園からオープンしたばかりのペイタウン・コア周辺へ。人口一万人を突破して最初のペイタウン祭です。恒例の番街対抗つなひきでは、昨年の覇者公園東の街とリベンジに燃える某番街、更に新規加入の??番街がすでに特訓合宿を開始したとの情報がペイタウンニュースに入っています。今年のペイタウンまつりのビールはうまいぞ。

海浜打瀬小学校 学校体育施設開放委員会が発足

お待たせしました。海浜打瀬小学校の校庭開放(正式には学校体育施設開放)が本年度より始まります。平日の夜間や休日に学校のアリーナや校庭での活動を希望しながら、打瀬小学校の施設が満杯で不便を感じていた団体には朗報です。すでに「ミニバスケット」「空手」「サッカー(3団体)」「バレーボール」と6つの団体が活動を始めています。

場所と時間

校庭: 6:30 ~ 17:00 (冬季は 16:00 まで)

体育館: 6:30 ~ 21:00

プール: 9:00 ~ 17:00 (12時から13時までを除く)

利用の範囲

スポーツ活動の場としての開放校の利用は、市内に在住または通勤もしくは在学する者が構成するスポーツ団体で、運営委員会に登録したものに限り許可。

開放委員会の役員

会長: 永田 大二

副会長: 大垣 靖仁

庶務: 小川 由起子 (以上、敬称略)

問い合わせ先: 永田さん(パティオス16番街 TEL:211-7610)まで。

— ガス温水式床暖房 —

3月から入居が始まった公団賃貸住宅、「パティオス20番街」の各住戸のリビング・ダイニングには、ガス温水式床暖房設備が設置されています。

これは、床暖房設備の使用を希望されるお客様が、各自で東京ガス(株)に別途設備使用申込(床暖房設備使用契約)※を行っていただくものです。

床暖房は「頭寒足熱」の理想の暖房といわれており、輻射熱で足元から暖まる・部屋全体がむらなく暖まる・ほこりが立たず室内がクリーン・自然な暖房感が得られるといった様々なメリットがあります。

さらに、屋外の給水器で作った約60℃の低温水を循環させて暖房するので運転音が気にならず、室内に機器やコードがなくてすむためお子さんやお年寄りにも安心できる暖房です。

また風が起きないので、お肌も乾燥しすぎず、冬の肌荒れもやわらかいため、女性にも優しい暖房となっています。

※使用料は入居期間にかかわらず定額・入居時の一括前払いとなっております。また、この使用料には床暖房使用に伴うガス料金等は含まれておりません。



都市公団

賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL: 047-478-3711

公団住宅の駐車場の問い合わせは
日本総合住生活(株)千葉支店

■「指輪物語」が映画化されたり、アイルランド代表チームのキャンプ地に千葉市がなったり、にわかにはケルトの風が吹き始めた。実際、風が強く自然が厳しいところはペイタウンに似ている?

アイルランドは歴史も自然も音楽も魅力的だし、荒削りで不思議な国の謎をひもといってみるのも面白いかも。早速、コアの図書館へ行ってみよう。その前に enya の CD を聴きながらギネスビールを飲んでケルトを体感する、いいすネエ。4月13日には「アイリッシュ ミュージック ナイト」がコアホールで催される予定。

佐藤 則子 (#3-310/T&F211-0090)

■打瀬小で給食作りに携わる栄養士の石川さんは給食の写真を毎回とっています。盛り付けや色味のことなど弁当のとき以外は考えもしませんでしたが、なるほど見た目も大事です。青が食欲をそそらない色であることを利用して、食べ物を青く染めて食を細くする「ブルーダイエット」というものもあるくらい。話を聞いて一瞬、「うちでも写真とろうかな」と思いましたが、なんだかこわくて、すぐ断念しました。

茂木 俊輔 (#7-305/T&F:211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

■強風、花冷え、雨と続き気が付いたら例年より早く開花したサクラも散ってしまった。先日、日比谷公園前を通りかかったら小雨の中、寒そうに花見の場所取りをしている人がいた。その後雨脚が強まったからおそらく彼らの努力は報われなかったと思われる。いつかペイタウンにも桜並木をつくる計画があると聞いた事があるが、はたしてどこの事だろうと、ペイタウンの悪条件の中でもけなげに花を咲かせている1本の桜の木を見ながら思い返した。

金 一剛 (#3-220/T&F:211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp)

■図書館分館取材の第一印象は、まず「明るくて、目によさそう」。そして…取材後の第一感想は「中央図書館が近くなった(取り寄せ貸し出し、返却が可能だから)」。他に「便利だな〜」と思ったのは、間違っても休館日に行っても“返却ポスト”があること。誰もがしてしまいそうなミス「あっ、10冊も返しに来たのに休みだ!」といった時にも安心です(特に、早とちりな私)。また、今回の取材では、分館担当の相澤さんにたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

浜田貴代子(公園東 atmark@pop01.odn.ne.jp)

■板東です。ごぶさたしております。転勤で、1年半の間、名古屋の地におりましたが、ようやく戻ってくることができました。これからは、以前と同様、ニュース作りに積極的に参加していきたいと思っておりますので、皆さんよろしくお祈りします。

板東 司(#1-210/T&F211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp)

■なんだか今月のペイタウンニュースは薄いなあ。そう思われた方はかなりのペイタウンニュース通。実は、別刷りで3年間お届けした「きょういくペイタウン」が先月号(第58号)で終了したのです。代わって今月からは少し視点を変え、「こども・まち・がっこう」シリーズが新たにスタートします。

この企画では学校や街で見せる子どもたちの表情や生活の様子を、ペイタウンニュース記者が住民の視点で取材し、読者に紹介してゆきます。記念すべきシリーズ第一号は、この春同中学校を卒業した富川真希さん(公園西の街)がクラスメートの証言で取材した打瀬中学校の様子をお伝えしました。きょういくペイタウン同様「こども・まち・がっこう」シリーズをよろしくお祈りします。また、3年間「きょういくペイタウン」の発行にご協力いただいた打瀬小・中学校、海浜打瀬小学校に心よりのお礼を申し上げます。

松村 守康(#10-612/T&F:211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp)